

平成 28 年度事業報告書

1. 平成 28 年度について

平成 28 年度は、鳥取県中部でも大地震が発生するなど日本列島の各地において地震・豪雨・豪雪等の自然災害に数多く見舞われた年でした。また、介護・福祉の分野では、児童施設・障害者施設等において悲惨な事件が起きた年でもありました。このような状況の下、入所者・利用者の安心・安全な生活と質の高い介護の確保と災害対策並びに施設管理のリスク対策について警鐘が鳴らされ、それらへの対応に腐心したところでもあります。

また、社会福祉法改正が改正され新制度の意義を理解し、法改革の本格施行に向けて取り組み、事務手続きを進めて来ました。平成 29 年度は、社会福祉法改正の本格施行となる大きな改革の年となります。国・県・町の方針、社会の動向を敏感に捉え、地域への貢献が果たせるよう努めていきます。

平成 28 年度も様々な事業に取り組みましたが、どの事業におきましても、地域の皆様のご理解ご協力と、当法人に関わっていただきました皆様のご支援のよるものと深く感謝申し上げます。

今後も引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2. 主な重点取り組み事項の報告

(1) 法人の適正な運営

社会福祉法改正の本格施行（平成 29 年 4 月 1 日）に向けて、社会福祉法人として経営組織及びガバナンスを強化するための準備を整えて来ました。

特に、経営組織の在り方について、理事、評議員、監事の権限・義務・責任の明確化と相互牽制機能の導入による組織強化が求められており、定款の改正が必要になりました。そのため、国・県等の見解の正確な理解に努めるとともに、理事会・評議員会において事前に動静を説明し、定款改正の議決を受けた上で県へ承認申請し、平成 29 年 3 月 24 日承認がなされたところです。併せて定款細則等についても所要の改正を行いました。

また、財務面におきましては、長期借入金の一部を繰上げ償還、車両等設備資金の一部をリースに切り替えなどにより、安定した財務管理に取り組みました。今後も、財務体質の向上に努めて行きます。

(2) 法令遵守体制の構築及び虐待防止等の取り組みについて

虐待の防止や不適切な介護の防止に鋭意取り組みました。

このたびの虐待事案に係る改善勧告について当該施設としての虐待防止に向けた取り組みは、「サービス向上計画」として取りまとめ実施したところです。

また、法人としては、「虐待防止改善計画」として取りまとめ県へ報告するとともにその具体策に取り組んできました。

そのほか、法令遵守規程を制定するとともに法令遵守マニュアルや高齢者虐待防止マ

ニユアル等も整備し、法令遵守体制の強化を図ってきたところ、平成29年3月10日付けで鳥取県から理事長宛に、改善状況の結果について「概ね改善されていた」との通知がなされたところであります。今後とも、引き続き虐待防止計画の周知を徹底し、虐待防止、不適切事象が起きない体制づくりに努めていきます。

(3) 全拠点を繋ぐネットワーク事業

法人内全拠点の連携強化を図るためネットワーク事業に取り組みました。平成28年度内の完成を目指して進めましたが、諸事情により平成29年4月に完了しました。

今後このネットワークにより、全拠点間にて情報の共有を図り、様々な業務運営に活用することが可能となります。介護現場での迅速な情報伝達や、業務の効率化等も含めサービスの向上に活かせていきます。

(4) 地域介護・福祉空間整備事業（110番直結型非常通報設置）

平成28年度に、他県の児童施設、障害者施設において残虐な事件が発生しました。当法人の関わる介護分野においても、国より施設管理のリスク対策について、点検並びに整備が問われているところです。

当法人も施設の安全を維持するため、地域介護・福祉空間整備事業（八頭町助成事業）を活用し、110番直結型非常通報装置を、全4施設に設置しました。あらゆるリスクに備え、事故を未然に防ぎ、安心・安全な施設継続のために活用します。

(5) 良質なサービスの提供及び利用率の向上

平成27年度に介護報酬の改定及び処遇改善加算率の引き上げが実施され、2年目となる本年度は、通所・通所リハビリ事業所の減収が予想されるなか、各施設・事業所において様々な工夫をして取り組みました。例えば、認知症対策の取り組みにおいては、日常の余暇活動の中で、計算問題や工作等の様々な工夫により予防・改善に努めサービスの提供をいたしました。さらに本年度は、1月、2月の記録的な豪雪の影響によりリハビリ・通所事業所が、営業が一時ストップするという事態が発生しましたが、全職員によるサービス向上の工夫により利用率の維持が図れ、前年度の事業収入額を若干上回ることができました。

今後も全施設・事業所が、さらに良質なサービスを工夫して取り組んでまいります。

3. 理事会・評議員会・監事会等

(1) 理事会

日付		報告・議案事項
1	H28. 5. 23	第1回理事会 理事7名、監事3名出席 議案①平成27年度事業報告 ②平成27年度決算報告(決算監査報告含む) ③定款の一部改正 ④財産の処分 報告①県からの勧告 ②業務改善の推進に関する基本的方向(案)

2	H28. 6. 16	<p>第 2 回理事会 理事 6 名、監事 2 名出席</p> <p>議案①施設長の交代</p> <p>協議事項①改善報告書</p> <p>理事長専決事項報告①法令遵守規程の制定</p> <p>報告①法令遵守マニュアルの改正</p> <p>②高齢者虐待防止マニュアルの制定</p> <p>③平成 28 年 4 月末の会計報告</p>
3	H28. 7. 21	<p>第 3 回理事会 理事 5 名、監事 3 名出席</p> <p>議案①平成 28 年度資金収支補正予算</p> <p>②金銭消費貸借契約の変更</p> <p>③苦情対応規程の一部改正</p> <p>報告①平成 28 年 6 月までの事業報告</p> <p>②平成 28 年 6 月末の会計報告</p>
4	H28. 11. 28	<p>第 4 回理事会 理事 6 名、監事 3 名出席</p> <p>議案①平成 28 年度資金収支補正予算</p> <p>②基本財産(土地)の処分</p> <p>③施設長の交代</p> <p>監査報告①平成 28 年 9 月末会計状況の監査結果報告</p> <p>報告①平成 28 年 10 月までの事業報告</p> <p>②平成 28 年 9 月末の会計報告</p> <p>③虐待防止に向けた取り組み</p> <p>その他①定款の改正</p>
5	H29. 1. 24	<p>第 5 回理事会 理事 7 名、監事 3 名出席</p> <p>議案①定款の一部改正</p> <p>②定款の一部改正に係る付帯事項</p> <p>③評議員選任・解任委員会運営細則の制定</p> <p>④評議員選任・解任委員の議決</p> <p>⑤法人内の情報ネットワーク構築業務の委託契約</p> <p>報告①平成 28 年 12 月までの事業報告</p> <p>②平成 28 年 12 月末の会計報告</p>
6	H29. 3. 21	<p>第 6 回理事会 理事 5 名、監事 3 名出席</p> <p>議案①平成 28 年度資金収支補正予算</p> <p>②平成 29 年度事業計画</p> <p>③平成 29 年度資金収支予算</p> <p>④定款細則の一部改正</p> <p>⑤役員等報酬及び費用弁償規程の一部改正</p> <p>⑥利用料の長期滞納金の処理</p> <p>⑦評議員候補者の選考</p> <p>監査報告①平成 29 年 1 月末会計状況の監査結果報告</p> <p>報告①平成 29 年 2 月までの事業報告</p> <p>②平成 29 年 1 月末の会計報告</p> <p>③虐待防止に向けた取り組み</p>

(2) 評議員会

日付		報告・議案事項
1	H28. 5. 18	<p>第 1 回評議員会 評議員 11 名、監事 2 名出席</p> <p>議案①平成 27 年度事業報告</p> <p>②平成 27 年度決算報告(決算監査報告含む)</p> <p>③定款の一部改正</p> <p>④財産の処分</p> <p>報告①県からの勧告</p> <p>②業務改善の推進に関する基本的方向(案)</p>

2	H28. 7. 21	第2回評議員会 評議員 15名、監事 3名出席 議案①平成 28 年度資金収支補正予算 報告①金銭消費貸借契約の変更 ②苦情対応規程の一部改正 ③平成 28 年 6 月までの事業報告 ④平成 28 年 6 月末の会計報告
3	28. 11. 28	第3回評議員会 評議員 14名、監事 3名出席 議案①平成 28 年度資金収支補正予算 ②基本財産(土地)の処分 監査報告①平成 28 年 9 月末会計状況の監査結果報告 報告①平成 28 年 10 月までの事業報告 ②平成 28 年 9 月末の会計報告 ③虐待防止に向けた取り組み その他①定款の改正
4	H29. 1. 23	第4回評議員会 評議員 15名、監事 3名出席 議案①定款の一部改正 ②定款の一部改正に係る付帯事項 ③評議員選任・解任委員会運営細則の制定 報告①平成 28 年 12 月までの事業報告 ②平成 28 年 12 月末の会計報告 ③情報ネットワーク構築業務
5	H29. 3. 21	第5回評議員会 評議員 12名、監事 3名出席 議案①平成 28 年度資金収支補正予算 ②平成 29 年度事業計画 ③平成 29 年度資金収支予算 ④定款細則の一部改正 ⑤役員等報酬及び費用弁償規程の一部改正 ⑥利用料の長期滞納金の処理 ⑦評議員候補者の選考 監査報告①平成 29 年 1 月末会計状況の監査結果報告 報告①平成 29 年 2 月までの事業報告 ②平成 29 年 1 月末の会計報告 ③虐待防止に向けた取り組み

(3) 監事会

日付		指 摘 事 項
1	H28. 5. 13	第1回監事会 総評 ○特記事項なし。 個別意見 ○理事会、評議員会の議事録がホッチキス止めされているが、署名人の署名後に加除できないよう、袋とじすることが望ましい。 ○平成 28 年 5 月 18 日開催予定の評議員会の開催通知がまだ出されていない。定款細則に定めるとおり、開催の1週間前までに到達するよう通知されたい。
2	H28. 8. 26	第2回監事会 ○特記事項なし
3	H28. 11. 21	第3回監事会 ○特記事項なし
4	H29. 3. 13	第4回監事会 ○特記事項なし。

(4) 第三者委員会

日付	報告・議案事項
H29. 3. 6	委員 4 名（全員）、専務理事、常務理事、各施設長出席 ・苦情受付報告「退所者の薬が他の入居者に転用された件」

(5) 評議員選任・解任委員会

日付	報告・議案事項
H29. 3. 27	委員 8 名（全員）、理事長、専務理事、常務理事出席 ・新評議員 9 名の選任について審議・決議

4. 法人主体行事・事業等

日付	内容
1 H28. 4. 1	辞令交付式
2 H28. 4. 1～2	新規採用職員研修
3 H28. 6. 2・8・9	人権研修(全職員)
4 H28. 6. 4	福祉の就職フェア参加
5 H28. 6. 17	岡崎倫典ライブ
6 H28. 7. 16	栄養科新採職員試験
7 H28. 7. 26	改善状況確認実地調査
8 H28. 8. 28	すこやか納涼祭
9 H28. 9. 10	新卒介護職員採用試験
10 H28. 10. 2	こおげグループ運動会
11 H28. 10. 8	オールジャパンケアコンテスト参加
12 H28. 10. 16	きたやまふれあい祭り
13 H28. 11. 19	特養すこやか秋祭り
14 H28. 11. 28	新卒介護職員採用試験(第 2 回)
15 H28. 12. 14・16・19	虐待防止研修会(全職員)
16 H28. 1. 5	こおげグループ安全祈願祭・仕事始め式
17 H28. 1. 17	正職員登用試験(登用 4 名)
18 H28. 1. 18・19・24	虐待防止研修会 (外部講師)
19 H28. 1. 20	法人指導監査
20 H28. 1. 26	改善状況確認実地調査(第 2 回)
21 H28. 2. 18	こおげグループ安全大会
22 H28. 3. 10	改善状況確認結果通知(受理)
23 H28. 3. 13・14	人権研修(介護職員)
24 H28. 3. 23	ボランティア交流会(きたやま)

5. 役員・施設長研修参加状況

日付	会議・研修名	主催者（場所）	参加者
H28. 6.13	老人福祉施設職員研究会	県老人福祉施設協議会 (倉吉未来中心)	森本専務、浜岡施設長
H28. 8. 3	社会福祉法人制度改革 セミナー	鳥取県社会福祉施設経営 者協議会(倉吉未来中心)	森本専務
H28. 8. 30	社会福祉法人会計実務 研修会	鳥取県社会福祉協議会 (日本海新聞中部本社)	森本専務
H28. 9.14～ 16	全国介護老人保健施設 大会	全老協(大阪国際会議場)	森本専務、浜岡施設長、井 上医師
H28. 10. 8	オールジャパンケアコ ンテスト	AJCC 実行委員会（米子 コンベンションセンタ ー）	山根理事長、森本専務、 垣田評議員、西村評議 員、長野施設長、竹内施 設長、井上施設長
H28. 10. 26	認知症疾患保健医療福 祉連携研修会	渡辺病院（渡辺病院）	浜岡施設長
H28. 10. 11	社会福祉施設における 水害等災害対策の強化 に係る事業者説明会	県福祉保健課 (日本海新聞中部本社)	井上施設長
H28. 11. 8	職場のメンタルヘルス 研修会	県社協（倉吉産業体育 館）	井上施設長
H28. 11. 30	施設における高齢者虐 待防止・権利擁護研修 会	介護労働安定センター 鳥取県支部 (とりぎん文化会館)	浜岡施設長、竹内施設 長、井上施設長
H28. 12. 9	社会福祉法人監事研修	(福祉人材研修センタ ー)	森本専務、澤田監事、細 田監事、山根監事
H28. 12. 13	中小企業向け個人情報 保護法全国説明会	個人情報保護委員会 (とりぎん文化会館)	竹内施設長、井上施設長
H29. 1. 20	事業者支援セミナー 「なぜ労務管理が必要 なのか」	介護労働安定センター 鳥取県支部(まなびタウ ンとうはく)	竹内施設長、井上施設長
H29. 2. 1 7	認知症介護実践リーダ ーフォローアップ研修	敬仁会 (アゼリアホール)	浜岡施設長
H29. 2. 22	管理者等責任者向け高 齢者虐待防止・権利擁 護研修会	県長寿社会課 (県庁講堂)	森本専務、浜岡施設長、 竹内施設長、井上施設長
H29. 2. 25	県老人保健施設協会研 修会	県老人保健施設協会 (米子全日空ホテル)	浜岡施設長
H29. 3. 9	大規模災害への蓄えを 考える研修会	日本認知症グループホ ーム協会鳥取支部（福 祉人材研修センター）	竹内施設長、井上施設長

6. 教育事業（外部研修会への参加状況）

主 催	回数	参加人数	内 容
鳥取県	10回	37名	介護認定調査員研修、食中毒防止、虐待防止、認知症介護、メンタルヘルス、法改正、水害、レクリエーション、等
鳥取県社会福祉協議会	25回	36人	介護支援専門員研修、介護実践リーダー、感染症、嚥下障害、腰痛対策、メンタルヘルス、ソーシャルワーク、会計、ボランティア担当、等
全国・鳥取県老人保健施設協会	5回	12人	全国大会、専門職研修、看取り研修、等
介護労働安定センター鳥取県支部	5回	6人	虐待防止、介護記録、認知症、労務管理、レクリエーション
鳥取県介護福祉士会	2回	8人	指導者研修、初任者研修
その他（県医師会、八頭町、敬仁会、幸朋苑、神戸市福祉施設連盟、県小規模多機能型居宅介護事業所連絡会、等）	32回	72名	認知症、口腔ケア、QOL向上、介護記録、通所リハ、栄養・食品衛生、医療・看護、オールジャパンケアコンテスト、ストレスチェック、労務管理、法改正、メンタルヘルス、レクリエーション、等
計	79回	171名	

7. 福利厚生

日 付	内 容	実施場所	人 数
H28/ 4/ 1, 11	夜勤者・新入職員健康診断	老健・老健	101名
H28/10/20, 25, 26	健康診断	老健・老健	226名
H28/11/ 8, 11	インフルエンザ予防接種	特養医務室	全職員
H28/11/24	ストレスチェック・アンケート実施	各事業所	208名
H29/ 1/13	ストレスチェック・結果通知	〃	〃

8. 各施設（事業所）の事業報告

(1) 介護老人保健施設すこやか

ア. 利用の状況

(ア) 年度別利用率 (%)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	実績	実績	実績	目標
老人保健施設	90.5	96.3	94.3	97.0
通所リハビリ	83.2	77.9	82.6	82.8
通所介護	72.4	75.6	76.3	80.0

※ 老健は空床期間、通所は大雪の影響等で目標未達

(イ) 月別平均利用者数 (人/日)

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
介護老人 保健施設	H27	72.7	72.9	73.4	74.2	75.6	75.3	72.2	74.3	74.3	70.9	73.3	69.6	73.2
	H28	69.8	71.0	72.5	72.3	72.3	73.7	72.8	67.8	71.1	70.7	72.9	71.9	71.7
通所 リハビリ	H27	16.1	16.9	17.0	18.1	18.6	18.4	20.7	19.3	17.1	17.2	17.3	18.5	17.9
	H28	20.5	20.5	20.8	20.7	20.7	21.8	20.5	21.3	20.4	19.7	17.6	20.4	20.7
通所介護	H27	28.1	27.6	29.1	31.0	32.2	34.0	33.1	31.6	29.2	28.7	29.2	27.7	30.1
	H28	32.8	32.8	33.3	33.2	33.2	34.9	32.8	34.1	31.6	29.4	28.5	31.1	30.5
訪問介護	H27	11.8	10.6	12.7	12.1	12.4	13.1	13.0	12.4	11.5	13.2	9.7	10.1	11.8
	H28	10.4	11.8	11.3	10.8	11.6	11.3	10.8	11.7	12.1	11.6	10.8	12.5	11.4
居宅 介護支援	H27	45	46	57	56	61	65	66	65	70	66	68	75	61.7
	H28	63	65	66	65	66	60	75	79	81	80	79	84	71.9

※ 訪問介護は訪問件数/居宅介護支援は登録者数

イ. 身体拘束防止委員会の開催状況

日付	指 摘 事 項
1 H28. 11. 29	第1回身体拘束防止委員会 (委員8名出席) 身体拘束に関する指針の確認、現状報告、意見交換
2 H29. 1. 23	第2回身体拘束防止委員会 (委員8名出席) 現状報告、施設巡回、意見交換
3 H29. 3. 27	第3回身体拘束防止委員会 (委員7名出席) 現状報告、事例検討、意見交換

ウ. 目標と実績

(ア) 介護老人保健施設

目 標 項 目	実 績
目標管理の実践による組織力向上	・事業所管理記録様式を使用し各事業所が目標管理を実践した。 目標の達成は不十分だったが、取り組むべき課題が見えてきた。
在宅復帰への支援	・在宅復帰率 18.8% (前年度 10.0%)、利用率 94.3% (前年度 96.3%) 在宅復帰へのアプローチは外泊、外出などの取り組みは出来たが、課題が明確になった。 利用率目標は急な入院退所等が多く未達だった。 「生活」を見据えたケアプラン作成を実践していく。

職員のレベルアップ	・利用者情報の収集方法を検討する課題が見えてきた。 居宅介護支援事業所との連携を密にする課題が見えてきた。 ヒヤリハット、事故の原因究明が不十分で是正につながらなかった。
感染症の防止	・委員会活動で感染予防に取り組みインフルエンザ等の発症なし。

(イ) 通所介護事業所

目 標 項 目	実 績
介護予防事業の企画・実施	・元気道場の無料開放を継続することで、地域の介護予防の手段として定着してきた。
新規利用者の確保(利用率の向上)	・月ごとの利用率等を継続分析し対策を検討して利用率向上、維持に努めた。 あったかサポートとテレビ電話通信で情報発信した。 地域包括、居宅支援事業所等と連絡、連携を密にできた。
職員のレベルアップ	・継続してアセスメント力、コミュニケーション能力の更なる向上に取り組む。 交通安全意識の高揚と安全運転意識を維持、継続するため、繰り返し研修会、勉強会を開催した。

(ウ) 通所リハビリテーション事業所

目 標 項 目	実 績
在宅生活の継続	・遊び、家事、おおよび療法士の在宅訪問を継続実施し活動取り組みが定着した。 今後「生活」を意識してアセスメントを実践していく。
通所介護事業所や居宅介護支援・訪問介護事業所および老健施設との連携	・居宅支援事業所等との情報交換を通して連携はとれたが、老健施設との連携強化が課題として見えてきた。
職員のレベルアップ	・継続してリハビリ知識の習得に取り組む。 療法士の研修が出来なかった、今後は計画的に研修実施する。

(エ) 訪問介護事業所

目 標 項 目	実 績
アセスメント力向上	・全利用者の再アセスメントを実施した。
職員のレベルアップ	・具体的な取り組みが出来なかった。

(オ) 居宅介護支援事業所

目 標 項 目	実 績
行政(保険者)、医療(病院)等の関係機関との連携強化	・予防の新規利用者が増加した。
法人内事業所の売り(強み)の構築と改善と質の向上への協力	・予防の計画書作成比率が6%から20%になった。
介護支援専門員の資質向上	・定例勉強会が開催できなかった。 事業所内でケアプラン内容の相互確認を通してプランの質の改善につながった。

(2) 特別養護老人ホームすこやか

ア. 利用の状況

(ア) 年度別利用率 (%)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度
	実 績	実 績	実 績
入 所	98.3	94.3	98.6
短 期	69.7	82.9	69.3

(イ) 月別平均利用者数 (人/日)

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	定員
入所	H27	70.4	72.2	71.2	72.4	70.8	67.4	65.4	67.7	70.7	68.4	69.5	71.0	69.8	74
	H28	72.1	72.1	72.9	73.5	74.0	73.1	73.3	71.7	72.9	73.7	73.3	72.9	73.0	
短期	H27	4.7	3.9	6.1	4.3	4.5	4.6	5.2	6.1	4.2	5.3	5.9	5.0	5.0	6
	H28	4.6	4.6	4.4	4.4	4.5	4.5	4.5	4.3	3.9	4.2	2.9	3.1	4.2	

イ. 身体拘束防止委員会の開催状況

日付		指 摘 事 項
1	H28. 11. 29	第1回身体拘束防止委員会 (外部委員3名出席) 身体拘束防止に関する指針等について
2	H29. 1. 30	第2回身体拘束防止委員会 (外部委員3名出席) 施設内で発生した事例の対応方法について 検討委員会開催の時期等について
3	H29. 3. 28	第3回身体拘束防止委員会 (外部委員3名出席) 身体拘束事案に該当するか否かの判断基準について

ウ. 目標と実績

目 標 項 目	実 績
基本ケア・援助の徹底	1. ケアマネを中心に多職種が連携して、利用者の状況に的確に対応したサービス計画を策定し、計画に沿ったサービスを提供するとともに、利用者の変化等を次のサービス計画に繋げるというサイクルを確立した。
職員資質の向上・人材育成	1. 外部研修に積極的に参加し、その成果を施設内に伝達するとともに、外部講師を招聘しての効率的・効果的な施設内研修を試行した。 2. 年度当初に整備した施設内LANを活用し、利用者情報等の多職種間での共有化を進めた。
地域との連携及び貢献	1. 八頭中学2年生の職場体験学習「ワクワク八頭」をはじめ、県社協・町社協などが主催される各種のボランティア体験活動を積極的に受け入れた。
安定的経営	1. 入居待機者家族や関係機関との連携を図り、退所後の平均空床日数目標20日以内を達成するとともに、年間の平均長期入所者数が73人(定員74人)弱になった。
衛生・災害対策	1. 水害・土砂災害を含む施設が立地する地域の実情を確認するとともに、28年秋以降厚生労働省が策定を求めている「非常災

(衛生・災害対策続き)	害対策計画」の検討を進めた。 2. 計画の完成を待つことなく、職員用ヘルメットなど必要物品の整備等を行った。
その他の特記事項	1. 平成27年12月に発生した事案も平成29年3月に一応の終結を迎えたが、事案を終わったこと、過去のことと捉えるのではなく、「あの事案がいい契機になった」と振り返ることができるよう、引き続き職員が一丸となって、提供するサービスの向上等に努力していきたい。

(3) 介護老人施設 きたやま

ア. 利用の状況

(ア) 年度別利用率 (%)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	実績	実績	実績	目標
小規模特養	96.4%	98.1%	98.8%	95.0%
小規模多機能	78.6%	85.6%	71.1%	92.0%

(イ) 月別平均利用者数 (人/日)

区分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
小規模特養	H27	28.0	27.9	27.4	28.0	28.4	28.7	29.0	29.0	29.0	29.0	29.0	28.0	28.5
	H28	28.1	27.5	28.6	29.0	29.0	28.5	28.6	29.0	28.9	28.5	29.0	29.0	28.6
小規模多機能	H27	21.2	21.6	21.2	22.5	22.5	22.8	21.3	21.2	22.8	20.8	19.9	18.8	21.4
	H28	19.5	19.0	18.1	18.2	17.5	18.5	19.0	18.1	17.3	16.5	16.0	15.5	17.8

イ. 身体拘束防止委員会の開催状況

日付		指 摘 事 項
1	H28. 11. 29	第1回身体拘束防止委員会 (委員6名出席) 身体拘束に関する指針の確認、現状報告、意見交換
2	H29. 1. 25	第2回身体拘束防止委員会 (委員6名出席) 現状報告、施設巡回、意見交換
3	H29. 3. 15	第3回身体拘束防止委員会 (委員7名出席) 現状報告、意見交換

ウ. 目標と実績

(ア) 小規模特別養護老人ホーム

目 標 項 目	実 績
サービスの質の向上、及び維持、管理のための体制づくり	入居者や家族に対して笑顔での挨拶と、家族に対して率先して状況報告が行えた。各町にボードを設置し活用することで情報の伝達と共有が図れた。業務マニュアルの見直しは不十分だった。
人材育成	研修への参加や、毎月のスタッフ会で勉強会を行い知識の習得を行った。実習生受入時の業務説明が職員各自の振り返りの良い機会となった。協力体制に対する職員の意識差が未だ感じられる。

リスクマネジメント	感染症予防に対する職員の意識が高く保てたことや、入居者、職員の体調管理と面会時の家族の予防対策への協力で、施設内での感染症の流行はなかった。
-----------	--

イ 小規模多機能型居宅介護施設

目 標 項 目	実 績
利用者が住み慣れた家で生活が続けられ、家族の介護負担の軽減を図るための支援	利用者や家族の状況についての情報を収集し、家族からの相談に応じて助言を行うことや、ADLの維持向上を目指したケアを実践できたことで、家族の介護負担軽減につながる支援ができた。
ケアの質を高め、利用者と家族から信頼され、満足されるサービスの提供	研修への参加等を通じ職員の知識・技術の習得は図れつつある。また、利用者や家族のニーズを的確に把握し、小規模多機能のサービスの特性を活かした利用の提案やケアの実践ができてきた。
地域住民との相互交流を図り、地域に開かれた事業所、困った時に頼られる事業所	地域行事への参加などを通じ、地域交流・相互交流の幅は広がってきているが、施設に気軽に立ち寄っていただける機会づくりと、介護の相談窓口としてのさらなる取り組みが必要。

(4) ケアハウスすこやか

ア. 利用の状況

(ア) 年度別利用率 (%)

区 分	平成26年度	平成27年度	平成28年度	
	実 績	実 績	実 績	目 標
ケアハウス	87.8	90.5	98.8	93.6

(イ) 月別平均利用者数 (人/日)

区 分	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
入所者数	H27	44.6	42.3	42.1	43.0	46.2	47.7	48.6	47.8	45.0	44.7	45.1	46.3	45.3
入所者数	H28	49.4	49.6	49.5	49.0	48.5	49.1	49.6	49.5	49.6	50.0	49.5	49.5	49.4
前年度比(%)		110.8	117.3	117.7	113.8	105.2	103.0	102.1	103.6	110.3	111.7	109.5	106.8	109.3

イ. 目標と実績

目 標 項 目	実 績
自立支援と予防介護への取り組み	入居者それぞれの状態の把握につとめ、施設支援計画書に沿った適切な支援を提供した。 自立維持のため健康体操を毎日行い、レクリエーションの参加を促進。趣味活動への取り組みを積極的に支援した。 食事などの趣味嗜好を把握するためアンケート調査を実施した。 入居者との懇談会を毎月開催し、要望の聞き取りをした。

衛生管理・災害対策	<p>毎日館内を清掃し、清潔に保ち衛生の維持を行った。</p> <p>感染予防のため館内の消毒を行い感染症予防対策に努めた。</p> <p>災害発生時における緊急時の体制の整備と災害訓練を実施した。</p>
施設管理について	<p>老朽化に対する定期的な点検、修繕計画の実施。</p> <p>備品管理の整備を実施。</p> <p>施設屋外の花壇等の環境整備の実施。</p>
利用率向上に向けた取り組み	<p>入居待機者の動向を把握し、早期入居できるよう支援した。</p> <p>広報紙等による広報活動を行い、ケアハウスの地域の方々への周知に努めた。</p> <p>東部地域の支援センターやケアマネ等へ情報の提供及び情報収集を図った。</p>
職員のレベルアップについて	<p>外部研修、法人内研修へ積極的に参加した。</p> <p>計画的に施設内のスタッフ会議等で研修会・勉強会を開催した。</p>